

明日の県立図書館フォーラム 2012

3.11から未来へ

対談 植島啓司 × 鷺田清一
(宗教人類学者) (哲学者)

2012 1.9 祝 14:00-16:00

三重県総合文化センター「フレンテみえ」多目的ホール
共催 三重県教育委員会、三重県生涯学習センター

入場無料
申込先着
400名様



岩手県大槌町吉里吉里 © 2011年 松原豊

三重県立図書館

「3.11 から未来へ」

三重県立図書館は、より多くの県民の皆さんに、より充実した図書館サービスをお届けするため、平成23年4月に改革実行計画「明日の県立図書館」を策定しました。その初年度の取り組みについて、県民の皆さんに報告する機会として、県立図書館フォーラムを開催します。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、三重県で暮らす私たちにも大きな課題を投げかけました。千年に一度といわれる大災害を受け、当館では防災分野をはじめ、ボランティア活動、エネルギー問題、人と人との絆など、多岐にわたるテーマの図書の貸出、資料の掲示、講座の開催などを行ってきました。

その総まとめとして、哲学と宗教学の第一人者をお招きし、対談を行っていただきます。東日本大震災を経験した私たちが、今後どのように生きていくかについて考える機会にしたいと思います。

プログラム

14:00 開会 主催者挨拶

14:05 三重県立図書館改革実行計画 平成23年度報告

取り組みに関する報告（三重県立図書館職員）

取り組みへの意見・評価（三重県立図書館協議会会長 井村正勝氏）

14:30 対談「3.11 から未来へ」

植島啓司氏（宗教人類学者）

鷲田清一氏（哲学者）

16:00 閉会



植島啓司 うえしま けいじ

1947年東京都生まれ。東京大学卒業。東京大学大学院人文科学研究科（宗教学専攻）博士課程修了。シカゴ大学大学院に留学後、NYのThe New School for Social Research客員教授、関西大学教授、人間総合科学大学教授などを歴任。著書に『聖地の想像力』、『偶然のチカラ』、『世界遺産 神々の眠る熊野を歩く』、『熊野神と仏』、『心コレクション』等。



鷲田清一 わしだ きよかず

1949年京都市生まれ。京都大学文学部哲学科卒業。関西大学教授、大阪大学教授、大阪大学大学院文学研究科長・文学部長、同理事・副学長、大阪大学総長を経て、2011年9月より大谷大学文学部教授。主な著書に、『モードの迷宮』（サントリー学芸賞）、『「聴く」ことの力』（桑原武夫学芸賞）、『悲鳴をあげる身体』、『夢のもつれ』等。2004年紫綬褒章。

申込制（先着400名様）

フォーラムに入場をご希望の方は、下記の方法でお申し込みください。先着400名様をご招待します。お申し込みの際には、入場を希望される方のお名前、電話番号をお知らせください。

なお、お申し込みが定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込先(件名)：三重県立図書館「フォーラム」係

電話 059-233-1182

FAX 059-233-1191

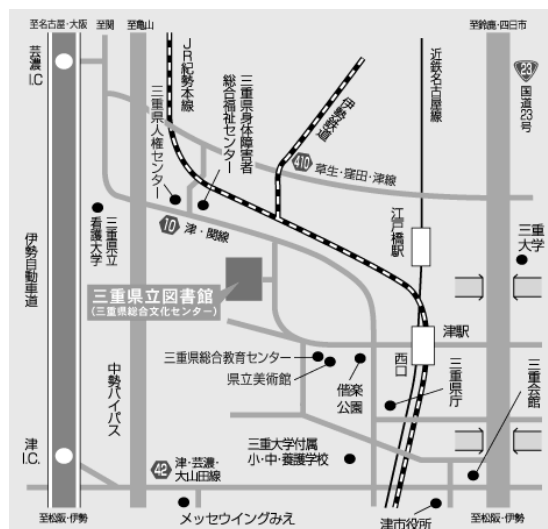
Eメール mie-lib@library.pref.mie.jp

窓口 三重県立図書館カウンター

*ご記入いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。



☎ 携帯電話からもお申し込みいただけます



交通のご案内

三重県総合文化センター 〒514-0061 津市一身田上津部田 1234

- 鉄道/近鉄・JR 津駅下車
- バス/津駅西口から約5分
- 徒歩/津駅西口から約20分
- タクシー/津駅西口から約5分
- 自家用車/伊勢自動車道津インターから約15分、芸濃インターから約15分

*工事のため、駐車場の一部が使用できません。公共交通機関のご利用をお願いします。